

## 第 4 学 年 国 語 科 学 習 指 導 案

日 時 平成 18 年 10 月 26 日 (木) 5 校時  
場 所 4 年教室  
児 童 男 14 名 女 8 名 計 22 名  
指 導 者 百 戸 直 子

- 1 単元名 よりよい意見にまとめよう (光村図書「国語 4 年下」)  
教材名 話し合って決めよう (話すこと・聞くこと)

### 2 単元について

#### (1) 教材について

第 3・4 学年における「話すこと・聞くこと」領域の目標は、「相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話すことや話の中心に気を付けて聞くことができるようにするとともに、進んで話し合おうとする態度を育てる。」ことである。この目標を踏まえ、本単元では「友だちと互いの相違点や共通点を理解しながら、意見をまとめ決定するために進んで話し合う力」を育てることをねらいとして設定した。

中学年までの話し合う活動の総まとめである本教材では、前学年までの話し合いの学習内容をもとにして、互いの意見のよいところを認め合ってよりよい結論へとまとめあげていく話し合いの仕方に学習の中心を置いている。ここでは、意見をまとめていくためにはどのような点に気を付ける必要があるかを十分に理解させたうえで話し合いの練習をすることにより、合意点を探りながら進んで話し合う力を育てることができると考える。

この教材は、大きく 2 つの学習活動からなる。第 1 次では教科書の話し合いの例を参考にして、よりよい意見にまとめる話し合いで、参加者・進行係が気を付けるポイントをつかみ練習する活動をする。また、別の話し合いの例を CD で聞いたり、その話し合いで自分ならどう発言するかを考えたりすることで、気を付けるポイントを確認させる。第 2 次では理解したポイントを意識しながら、話し合うグループとそれを聞くグループにわけて実際に話し合いの練習を行い、お互いの話し合いを観察し合って意見を言い合ったり自分達の話し合いを録音でふりかえったりする。

以上のことから、本教材は互いの共通点や相違点を理解しながら、意見をまとめ決定するために話し合う力を育てるのに適している教材である。

#### (2) 児童について

これまで児童は、3 年下「名前をつけよう」で、互いの共通点や相違点を明らかにして話し合う活動を行ってきた。

児童は、日常の話し合いの場面で自分の考えを進んで発表しようと意欲的に話し合いに参加するものの、意見が単発的になりがちで、友だちの意見と関連付けて話すことができる子は少ない。また、進行役の児童は、意見を求めることはできるが、出された意見を整理したり話題がそれていても本筋に戻したりできず、教師の支援を受けることが多い。話し合いで意見をまとめる場面では、さまざま出された意見の中から 1 つを選んでいくという意識が強く、互いの意見を照らし合わせながら最もよい意見にまとめていくことは難しい。

### (3) 指導にあたって

#### 単元の指導について

話し合いで意見をまとめていくためには、進行役・参加者それぞれが以下のような進行・発言のポイントを意識して話し合う必要がある。

- <進行役>
- ・はじめに話し合う話題を確かめる。
  - ・話題がそれたら元に戻す。
  - ・ところどころで意見を整理する。
  - ・意見が十分に出されたところで結論をまとめ、参加者に確かめる。
- <参加者>
- ・話題からそれないようにする。
  - ・賛成・反対などの立場をはっきりさせる。
  - ・体験したことや知っていることを例に挙げる。
  - ・ほかの人の意見を取り入れて、よりよい案を考える。

以上のポイントを理解させるために、教科書の話し合いのモデルを提示し、手本にしたいところや直したほうがよいところを話し合う。児童の発言からポイントをまとめた上で、教科書の話し合いのモデルを役割読みしたり、自分ならどう発言するかをポイントにそって考えたりすることで、より確かに話し合いの仕方を理解させたい。

次に、話し合いをするグループとそれを聞くグループとに分かれ、お互いの話し合いの様子を、確認したポイントと照らし合わせてふりかえる活動を行う。話し合いを聞いている友達から意見をもろうとともに、録音で自分たちでもふりかえられるようにすることで、さらに大切なポイントを意識させ、よりよい話し合いができるようにしたい。

#### 研究主題にかかわって

##### ア モデルの効果的な活用について

本単元では、第一次のよりよい話し合いの仕方のポイントをつかむ場面でモデルを活用する。自分たちの話し合いの場面をふりかえて考えてみても、どうすれば上手によりよい意見にまとめていけるかが具体的に分からないだろう。そこで、教科書の話し合いのモデルを聞いたり、そのモデルを役割読みしたりすることで、どういう意見の出し方・進行の仕方をすればよりよい意見にまとめられるのかを、モデルの発言の中から探し出しポイントをおさえさせたい。

##### イ 互いのよさを認め合う活動について

第二次のグループごとに話し合いを聞き合う場面で、第1次でつかんだポイントと照らし合わせて、友だちのよさを見つけたり助言したりする活動を行う。話し合いを聞いている第三者の友だちから助言を受けることにより、自分のよさや改善点を明確にすることができ、次の話し合いではさらに自分のめあてを持って話し合うことができるであろう。また、助言をする側の児童も、話し合いのポイントと照らし合わせて聞くことにより、自分たちが実践するとき、よりポイントを意識して話し合うことができるのではないかと考える。さらに、自分たちの話し合いを録音してふりかえることで、友だちから助言されたことを確認し、自分がどのように改善していくとよいか具体的なめあてを立てる手立てとしたい。

### 3 単元の目標

< 関心・意欲・態度 >

よりよい意見にまとめていくためのポイントに気を付けて話し合おうとする。

< 話すこと・聞くこと >

互いの相違点や共通点を理解しながら，意見をまとめ決定するために進んで話し合うことができる。

(話すこと・聞くこと ウ)

< 言語事項 >

その場の状況や目的に応じた適切な音量や速さで話すことができる。

(言語事項 ア(ア))

### 4 指導計画 (全6時間)

次	時	学習活動	評価規準	
1	1	意見をまとめるための話し合いで，発言するときのポイントを見つけ，発言練習の活動をする。	関	意見をまとめるための話し合いで，発言するときに気を付けるポイントを見つけようとしている。
			話	意見をまとめるための話し合いで，発言するときのポイントに気付き，それにそって発言している。
	2	話し合いを進行するときに，進行係が気を付けるポイントを見つける。	関	たくさんの意見をまとめていく時に，進行係が気を付けるポイントについて考えようとしている。
			話	たくさんの意見をまとめていく時に，進行係が気を付けるポイントを見つけている。
	3	話し合いのモデルを聞いて，発言者や進行係がどんなことに気を付けるとよいかを確かめ，またその話し合いで自分ならどうするかを考える。	関	話し合いのモデルを聞いて，発言者や進行係の話し方のよさをみつけたたり，自分の意見を考えたりしようとしている。
			話	発言者・進行係のそれぞれの注意点に気を付けて，モデルからよさをみつけている。
			言	聞き取りやすい声の大きさと大事なことはゆっくりと話している。
	2	小グループに分かれて話し合いを行い，互いの話し合いの様子について意見を出し合ったり，録音で自分たちの話し合いを聞いたたりして，ふりかえる。  【2/2本 時】	関	よりよい意見にまとめるための話し合いの仕方に気を付けて話し合ったり，他のグループの話し合いを聞いて意見を述べたりしようとしている。
			話	話し合いのポイントに気を付けて，合意点を探りながら話し合い活動を行ったり，他のグループの話し合いを聞いて意見を述べたりしている。
言			相手や状況にふさわしい言葉遣いや速さで話している。	

6	グループごとに話し合ったことを発表し、よりよい意見にまとめていく話し合いのしかたについて確かめ、まとめの話し合い活動をする。	関	グループごとの発表を聞いて、話し合いの仕方を確かめ、そのことに気を付けながらまとめの話し合い活動しようとしている。
		話	話し合いのポイントに気を付けて、よりよい意見にまとめるために、合意点を探りながらまとめの話し合い活動をしている。
		言	相手や状況にふさわしい言葉遣いや速さで話している。

関 関心・意欲・態度

話 話すこと・聞くこと

言 言語事項

## 5 本時の指導

### (1) 具体目標

#### ア 目標とする児童の姿

体験したことを例にあげたり、他の人の意見を取り入れたりして発言することで、よりよい意見にまとめていくための話し合い活動を行うことができる。

#### イ 身に付けさせたい言語能力

合意点を探りながら、よりよい意見にまとめていくように話し合う力

### (2) 展開

階 段	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入 (5分)	1. 学習課題の確認をする。 (1) 前時までの学習をふりかえり、話し合いのポイントを確認する。 (2) 本時の課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習で確認したポイントをふりかえり、自分の課題を持って活動できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【発言のポイント】</p> <p>話題からそれないようにする。 賛成・反対などの立場をはっきりさせる。 体験したことや知っていることを例に挙げる。 他の人の意見を取り入れて、よりよい案を考える。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【進行のポイント】</p> <p>最初に、話し合う議題をたしかめる。 話題がそれたら、元にもどす。 ところどころで、意見を整理する。 意見が十分に出されたところで結論をまとめ、参加者にたしかめる。</p> </div>
	友だちの意見のよさを考えながら、話し合いのポイントに気を付けて話し合おう。	

展 開	2. 話し合いの練習をする。 (1) グループに分かれて、話し合い活動をする。(前半) ・ Aグループ...話し合いをする ・ Bグループ...話し合いを聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合うグループと話し合いを聞くグループを前時と交代して行う。</li> <li>・ 聞く側は、発言者を聞く者と司会者を聞く者に分け、どちらにも必ずよいところを伝えることができるようにする。</li> <li>・ 話し合いが早く終わったときのために、議題は2つ用意しておく。</li> </ul>
	(2) 話し合いを中断し、聞くグループはよさや改善点を伝える。  (3) 2つの聞くグループから出された意見を学級全体で確かめる。  (4) グループに分かれて、話し合い活動をする。(後半)聞くグループは話し合いを録画しながら聞く。  (5) 話し合いをふりかえる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合いの様子を友だちに客観的に見てもらってよさや改善点を伝えてもらうことにより、よりよい話し合いになるようにしたい。 <b>【手立て3】</b></li> <li>・ それぞれのグループで出された意見を交流させることで、自分のグループからは出なかった意見を補い合わせる。</li> <li>・ 前半の話し合いを聞いて出されたアドバイスを活かせるように、自分が気を付けることを確認させる。</li> <li>・ 話し合いを録画させ、話し合いをしたグループが自分の活動をふりかえることができるようにする。</li> <li>・ 話し合いのポイントと照らし合わせながら、後半部分の話し合いの様子を録画を見て、自分や友だちのよくなった点などをワークシートに書かせる。 <b>【手立て3】</b></li> </ul>
終末 5分	3. 学習のまとめをする。 (1) 感想を発表する。  4. 次時の学習内容の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の学習の感想をカードに書き、発表する。</li> </ul>

( 3 ) 具体の評価規準

A	体験したことを例にあげたり，他の人の意見を取り入れたりしながら，説得力のある発言を進んで行い，よりよい意見にまとめていくための話し合い活動を行っている。
B	体験したことを例にあげたり，他の人の意見を取り入れたりして発言することで，よりよい意見にまとめていくための話し合い活動を行っている。
努力を要する 子への支援	どの意見がよいか，自分の考えをはっきりさせ，なぜその意見に賛成かの理由を入れて発言するように助言する。